



銚子ジオパークニュース

第113号

2021年7月22日発行

発行責任 工藤 忠男

銚子ジオパーク市民の会

URL: <https://choshigeopark.com>



屏風ヶ浦 (銚子市)

令和三年度市民の会総会

小玉 健次郎

本年度の市民の会総会は、

新型コロナウイルスの感染脅威が収まらない状況下でしたので、昨年同様、文書による承認形式により実施しました。開催日は5月29日(土)とし、約10日前迄に資料並びに返信用葉書(または用紙)を会員あてに郵便(または手渡し)で配送しました。その結果、会員総数(配送数 278名のうち、159名(個人157名、法人2)の方から有効回答を頂きました。内訳は、「承認する」が159、「承認しない」はゼロでした。有効回答数が会員総数の10分の1以上であり、回答の過半数が「承認する」という結果であったので、2020年度活動報告並びに2021年度活動計画案は原案通り承認されました。また26名の方から、力強い応援メッセージのご提案を頂きました。昨年度は2回目の再認定審査があり、銚子ジオパーク推進協議会の一員としての市民

の会の活動は高く評価され、再認定合格に寄与することができました。2021年度から始まる推進協議会の次期活動計画では、SDGの項目を意識した計画が立案されています。市民の会もさらに思いを新たに、活動の一層のレベルアップを図っていきたいと考えています。これも会員の皆様のご理解とご協力があるからこそできるものと勇気づけられ感謝しています。

の会の活動は高く評価され、再認定合格に寄与することができました。2021年度から始まる推進協議会の次期活動計画では、SDGの項目を意識した計画が立案されています。市民の会もさらに思いを新たに、活動の一層のレベルアップを図っていきたいと考えています。これも会員の皆様のご理解とご協力があるからこそできるものと勇気づけられ感謝しています。



コマツヨイグサ



ハマカンゾウ

銚子半島は海岸植物の宝庫と言われています。狭い半島ですが、過酷な海岸の環境に適応した貴重な植物がたくさん生育しています。海岸の自然環境は、崖地、砂浜、砂丘に分類できます。

銚子半島の海岸植物 保立得造

一、海岸は風を遮るものが殆ど無い為、年中強風下にあります。一、海と隣合わせの為、スプレー状の塩分が常に植物に当たっています。

一、土壌に栄養分が少なく、直射日光と乾燥にもさらされるなど、植物にとって厳しい生育環境にあります。

5月16日(日)午前9時から1時間、屏風ヶ浦周辺とマリナ海水浴場の清掃活動をナルク銚子と共催で実施しました。銚子市でも連日のように新型コロナウイルス患者が確認されていますので、全員がマスクを着用し体温を測定した後ゴミ袋と火バサミを持って作業に取りかかりました。

屏風ヶ浦清掃 藤身 隆雄

当日の参加者は、市民の会25名、ナルク関係10名、(株)ダイナム3名、県外からジェットスキー愛好者13名、銚子広報を見ての参加2名を含めて53名でした。1時間の作業ですっかりきれいになりました。お疲れ様でした。

8月1日は海鹿島です。駐車場は今まで通り君ヶ浜寄りですが、受付は海水浴場寄りです。沢山の方のご協力をお願いします。



ハマゴウ

イグサが小花を咲かせます。海辺の季節の移ろいは早く感じます。六月中旬になるとスカシユリが空に向かって咲きはじめ、続いて同じユリ科のハマカンゾウが顔を出します。八月には良い香りを放つハマゴウが砂嵐に負けず紫色の小花を咲かせます。晩秋には銚子が北限のイソギク、それにツワブキも崖地を彩ります。銚子半島は四季折々に貴重な植物に出合うことができ、どうぞお楽しみに。

今月号は、これから元気に花咲く植物を紙面に咲かせました。HPのカラー版も御覧ください。銚子ジオパーク市民の会編集部

